

2023年3月20日

報道関係各位

NPO 法人梅田ミツバチプロジェクト
NPO 法人銀座ミツバチプロジェクト
NPO 法人サッポロ・ミツバチ・プロジェクト
NPO 法人マルハチ・プロジェクト
丸の内ハニープロジェクト実行委員会

～都市型養蜂を通じて SDGs 達成へ～
一般社団法人ミツバチプロジェクト・ジャパン 設立式

日時：2023年3月28日（火）16:00～17:00（受付開始 15:30）

場所：3×3Lab Future サロン（千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・ENEOSビル 1F）

NPO 法人梅田ミツバチプロジェクト、NPO 法人銀座ミツバチプロジェクト、NPO 法人サッポロ・ミツバチ・プロジェクト、NPO 法人マルハチ・プロジェクト、丸の内ハニープロジェクト実行委員会は、都市型養蜂（以下、ミツバチプロジェクト）を通じた持続可能な取り組みの推進支援を目的として、2023年4月3日に「一般社団法人ミツバチプロジェクト・ジャパン」（代表理事：小丸和弘、所在地：東京都中央区）を設立いたします。



つきましては、報道関係の皆様へ、団体設立式をご取材いただく機会を設けさせていただければと存じます。ご多忙の折、大変恐縮ですが、ぜひご取材いただきたくご案内申し上げます。

なお、お手数ではございますが、ご出席いただける場合は3月27日（月）までにご連絡を下さいますようお願い申し上げます。

ミツバチプロジェクトは、都市部にあるビルの屋上などのスペースを活用して養蜂を行う活動で、日本だけでなく世界中で展開されています。ハチミツの採取を主たる目的とするのではなく、都市部の環境保全、食育や環境教育、地域ブランド創造や地域コミュニティ形成などを目指す取り組みです。

本団体は、全国各地のミツバチプロジェクトの運営支援や国内外との連携促進を行うことで、養蜂活動を通じたSDGsの達成に寄与する取り組みを推進してまいります。

実施概要

開催日時：2023年3月28日（火）16:00～17:00（受付開始 15:30～）

会場：3×3Lab Future サロン（東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・ENEOSビル 1F）

<https://www.33lab-future.jp/access.html>

当日のスケジュールについて

1. 設立発起人挨拶
2. 理事及び事務局の紹介
3. 事業概要の説明
4. 質疑応答

※18:00より、同じ会場で記念パーティーを実施いたします。お時間がございましたらぜひご参加ください。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

大手町・丸の内・有楽町地区街づくりPR事務局 共同ピーアール(株) PRアカウント本部 9部 担当：内山・前山・高橋
TEL：070-4303-7311／070-4303-7327 FAX：03-6260-6653 E-mail：tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp

一般社団法人ミツバチプロジェクト・ジャパンについて

名称：一般社団法人ミツバチプロジェクト・ジャパン

設立：2023年4月3日

所在地：東京都中央区銀座3-9-11

理事及び事務局

代表理事（設立発起人）	：小丸和弘（NPO 法人梅田ミツバチプロジェクト 理事長）
副代表理事（設立発起人）	：田中淳夫（NPO 法人銀座ミツバチプロジェクト 副理事長）
理事（設立発起人）	：酒井秀治（NPO 法人サッポロ・ミツバチ・プロジェクト 理事長）
理事	：佐藤 敦（NPO 法人マルハチ・プロジェクト 理事）
理事	：村上孝憲（丸の内ハニープロジェクト実行委員会）
監事	：服部篤子（同志社ミツバチラボ主宰/同志社大学客員教授）
監事	：松良宗夫（NPO 法人マルハチ・プロジェクト 理事長）
事務局長	：藤本裕昭（NPO 法人梅田ミツバチプロジェクト 副理事長）
副事務局長	：藪原和雄（鶯谷ハニーラボ ラボ長/鶯谷ハニープロ合同会社）

事業内容

- （1）国内・海外のミツバチプロジェクトとの連携、情報交換とその活動の情報発信
- （2）蜜源・花粉源の緑を増やす活動の実施及びその取り組みの支援
- （3）子供たちを中心に環境教育の実施及びその支援
- （4）ミツバチプロジェクトを設立して地域課題に取り組む団体の支援
- （5）ミツバチを中心とする自然環境の調査・研究及び学術・各種団体との研究連携
- （6）その他養蜂を通じて社会課題解決の目的達成と SDGs 実現に向けた必要な事業

所属団体について

■ NPO 法人梅田ミツバチプロジェクト

2009年9月発足。大阪・梅田での養蜂活動を通じて、大阪都市部における生態系の循環を考え、地域と一体の持続可能な都市自然環境を作り、美味しく、美しい社会環境作りを目指して活動している。

URL：<https://u-mitsubachi.com/>

■ NPO 法人銀座ミツバチプロジェクト

2006年に銀座周辺で働く有志たちが集まり、ビルの屋上でミツバチを飼う活動を始めたことからスタート。現在、銀座や丸の内など5カ所の養蜂場で年間2トンを超える蜂蜜を収穫し、全国約100カ所にミツバチプロジェクトが広がっている。

URL：<https://gin-pachi.jp/>

■ NPO 法人サッポロ・ミツバチ・プロジェクト

2010年発足。通称『さっぱち』。「都市で楽しむ・遊ぶ感覚」をベースに、多様な市民が自分事として関わり、つながりながらソーシャルキャピタルを育むまちづくりとしての養蜂活動を推進。札幌の土地ならではの自然・季節を味わえる蜂蜜を活かした商品開発や食育料理教室、ミツバチから環境共生の未来を学ぶワークショップなどに取り組んでいる。

URL：<https://www.sappachi.com/>

■ NPO 法人マルハチ・プロジェクト

2010年にCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）が名古屋で開催されたことを契機に活動をスタート。「ミツバチから考える環境づくり」をテーマに、名古屋市内のビルの屋上で養蜂活動を展開し、ミツバチとのふれあいを通じた環境保全に取り組んでいる。

URL：<https://www.facebook.com/maruhachi/>

■丸の内ハニープロジェクト実行委員会

2015年に、日本工業倶楽部会館の屋上にてセイヨウミツバチの養蜂活動をスタート。その後、丸の内のビルを拠点に活動場所を拡大。2016年7月より「丸の内ハニープロジェクト実行委員会」を組成し、地域の活動として大丸有エリア（大手町・丸の内・有楽町）のコミュニティ形成に取り組んでいる。

URL: <https://www.ecozzeria.jp/topics/MarunouchiHoney.pdf>

■同志社ミツバチラボ@服部研究室

2019年5月より、養蜂を通じたコミュニティの社会実験として活動を開始。①地域コミュニティの創発、②そのエリアの社会課題の探索、③伝統と革新手法によるヴィジョンの策定、④問題解決のアイデア試行、⑤成果を見える化する評価、そして実装へと、社会問題開発手法のプロセスを共有することを意図としている。

URL: <http://socialinnovation.jp/>

■鶯谷ハニーラボ

2021年4月より「養蜂を通して、人とまちと自然の再接続を企てる」というスローガンを掲げ、東京都台東区の鶯谷の街で屋上養蜂を開始。地域の飲食店などと連携した商品開発・販売のほか、養蜂場の見学会や講習会を通して屋上養蜂の魅力を発信している。

URL: <https://ughoneylabo.base.shop/>

イベント当日のご取材について

<取材申込先>

メール: tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp ※必要項目をご入力願います。

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくりPR事務局 行

※ご参加ご希望の方は、**3月27日（月）14:00までに**下記の必要事項をインラインで明記いただきメールをお送りいただければ幸いです。

※オンラインでの配信もございますので、ご希望の方にはURLをお送りいたします。

貴媒体名:

貴社名:

部署名:

ご芳名:

ご連絡先:

当日のご連絡先:

E-mail:

カメラ:【ENG（台）・ハンディ（台）・スチール】 / 無